

和歌山縣報

第千十一號

明治四十三年九月二十一日

○縣令

○和歌山縣令第三十八號

本縣種牡牛牽付費補助規則左ノ通相定ム

明治四十年一月本縣告示第九號種牡牛購入費補助規則ハ之ヲ廢止ス

明治四十三年九月二十一日

和歌山縣知事 川上親晴

種牡牛牽付費補助規則

第一條 牛種改良獎勵ノ爲種牡牛ヲ購入シタル者ニ對シ本則ノ規定ニ據リ其ノ牽付費半額以內ノ補助金ヲ交付ス

外國ヨリ購入シタルモノハ其ノ陸上地ヨリノ牽付費ヲ標準トス

第二條 本則ニ據リ牽付費ノ補助ヲ受ケムトスル者ハ種牡牛購入牽付濟ノ上別記樣式ニ據リ所轄

町村役場及郡市役所ヲ經テ補助金ノ交付ヲ知事ニ申請スヘシ

前項ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シタル調書ヲ添付スルヲ要ス

一、購入牽付ノ年月日

二、購入種牡牛ノ種類、名號、年齡、高サ、毛色及特徵、購入價格

三、購入先ノ地名及前所有者ノ住所氏名

四、牽付費用明細書

第三條 年度内豫算ヲ以テ全部補助金ヲ交付シ難キ場合ニ於テハ先ツ左記ノ順位ニ從ヒ申請書ノ

當廳ニ到着シタル順序ニヨリ之ヲ補助ス

一、産牛組合

二、郡

三、郡農會

四、町村農會

五、個人

第四條 補助金ハ實査ノ上種牡牛ト爲スニ適シ又ハ將來適當スルモノト認メタルモノニ之ヲ交付ス但本則第三條ノ調査ニ虚偽ノ記載アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

様式

種牡牛牽付費補助申請

今般別紙調査ノ通種牡牛購入致候付種牡牛牽付補助規則ニ付リ補助金御交付相成度此段申請候也

年月日

郡市町村大字番地

何ノ誰印

知事宛

○和歌山縣令第三十九號

本縣犢牛去勢獎勵規則左ノ通相定ム

明治三十九年十二月和歌山縣告示第二百七拾號犢牛去勢實施獎勵規則ハ之ヲ廢止ス

明治四十三年九月二十一日

和歌山縣知事 川上 親晴

犢牛去勢獎勵規則

第一條 犢牛ノ去勢ヲ受ケントスル者ハ別記様式ニ據リ所轄町村役場及郡市役所ヲ經テ知事ニ申請スヘシ

第二條 前條ノ申請アリタルトキハ隨時技術員ヲ派遣シ去勢ヲ行ハシム

第三條 左ニ掲ケルモノハ去勢ヲ行ハス

一、種牡牛ニ適スヘキ見込ノモノ

二、年齡不適當ナルモノ

三、其ノ他施術ニ不適當ト認ムルモノ

第四條 去勢ヲ受ケタル者ニハ獎勵ノ爲一頭ニ付金五拾錢ヲ交付ス

第五條 毎年度去勢ヲ行フヘキ頭數ハ毎年三月中ニ告示ス但シ前條獎勵金ノ交付ヲ受ケサル者ハ

本文ノ制限ニ拘ラス去勢ヲ行フコトアルヘシ

第六條 本則第一條ニ依リ去勢申請ヲ爲シタル犢牛ニ對シ郡、市、郡農會若クハ產牛組合ニ於テ其ノ技術員ヲシテ去勢ヲ行ハシメタルトキハ本則ニ依リ之ヲ行ヒタルモノト看做シ獎勵金ヲ交付ス

前項ノ場合ニ於テ其ノ獎勵金交付請求書ニハ所轄市市長ニ於テ施術者官職氏名ヲ記載シクル施

行濟證明書ヲ添付スルヲ要ス
様式

犢牛去勢申請書

一何種牡牛

壹頭

但シ何年何月生

一何種牝牛

壹頭

但シ何年何月生

右去勢相受度候ニ付御施術相成度萬一斃死其ノ他ノ事故ヲ生スルモ何等故障不申立候依テ此段申
請候也

追テ去勢終了ノ上ハ明治四十三年縣令第三十九號犢牛去勢獎勵規則ニ依リ獎勵金御交付相成度

年月日

郡市町村大字番地

何ノ誰印

知事宛

〔備考〕 去勢獎勵金ノ交付ヲ要セサルモノハ追書ヲ省クヘシ

○ 告 示

○和歌山縣告示第三百二十七號

京都蠶業講習所ニ於テ別科講習生五拾名募集ニ付志願者ハ左記事項ヲ心得出願スヘシ

明治四十三年九月二十一日

和歌山縣知事 川上親晴

一、志願者ハ本年十月十日マテニ當廳ヘ到着ノ日積ヲ以テ該講習所規程ノ書式ニ依リ願書ヲ差出

スヘシ

- 二、講習生ハ道府縣ヲ通シ入學試験ニ於テ優等合格者ヨリ順次定數ヲ選拔シ入學許可セラルヘシ
- 三、願書ハ京都蠶業講習所長石渡繁胤宛ニ認ムヘシ
- 四、入學志願者ノ資格及試験科目等ハ九月十二日ヨリ向三日間官報ニ公告アリ
- 五、京都蠶業講習所改訂規程ハ四十一年八月一日官報第七千五百三十二號ニ掲載アリ
- 六、志願者ハ明治十九年三月以前ノ出生タルヲ要ス

○和歌山縣告示第三百二十八號

左記定置漁業權ハ期間滿了ニ因リ消滅シタルニ付其旨免許漁業原簿ニ登錄ス

明治四十三年九月二十一日

和歌山縣知事 川上親晴

明治四十一年五月廿二日免許第六三四號

一、釣築類、鮎鞘掛

伊都郡笠田村

漁業權者

岩橋六太郎

明治四十三年八月十日消滅

明治四十一年五月廿二日免許第六三七號

一、釣築類 鱒淀

伊都郡橋本町

漁業權者

樋下品太郎

明治四十三年八月十六日消滅

明治四十一年八月四日免許第六六一號

一、鈎築類 鮎鞘掛

伊都郡妙寺町

代表者

保井徳次郎

明治四十三年八月六日消滅

明治四十一年八月二十日免許第六六五號

一、鈎築類 鮎鞘掛

海草郡直川村

代表者

源元清次郎

明治四十三年八月二十日消滅

明治四十一年一月二十七日免許第七三五號

一、鈎築類 鮎鞘掛

那賀郡山崎村大字畑毛

代表者

赤井傳四郎

明治四十三年一月廿七日消滅

明治四十一年八月二十七日免許第七四二號

一、鈎築類 鮎瀬張網

伊都郡隅田村大字幸生

代表者

池田傳市

明治四十三年八月二十七日消滅

明治四十一年八月二十七日免許第七四三號

一、魃築類 鮎瀨張網

明治四十三年八月二十七日消滅

○和歌山縣告示第三百二十九號

長崎縣ニ於テ左記ノ通獸疫發生ノ旨通知アリタリ

明治四十三年九月二十一日

記

和歌山縣知事 川上親晴

一、西彼杵郡蚊燒村ニ於テ本月四日犬一頭狂犬病ニ罹リ即日撲殺

一、長崎市大浦口ニ於テ本月六日犬一頭狂犬病ニ罹リ即日撲殺

一、南松浦郡本山村ニ於テ牛一頭炭疽ニ罹リ治療中

以上

○和歌山縣告示第三百三十號

兵庫縣城崎郡長井村ニ於テ客月三十日和種牡牛一頭炭疽ニ罹リ翌三十一日斃死セシ旨通知アリタリ

明治四十三年九月二十一日

和歌山縣知事 川上親晴

○和歌山縣告示第三百三十一號

福井縣外一縣ニ於テ牛疫豫防ニ關スル左記縣令發布ノ旨通知アリケリ
明治四十三年九月二十一日

和歌山縣知事

川上親晴

○福井縣令第五十二號

牛疫豫防ノ爲獸疫豫防法第十二條ニ依リ東京府下ヲ發シ若ハ通過シ來ル牛、羊、山羊又ハ其ノ生皮、生骨、生肉、生乳其ノ他病毒汚染ノ疑アル物品ノ輸入ヲ停止ス但シ汽車船舶積込ノ儘通過シタルモノ又ハ同府下中牛疫發生地以外ノ區域ヲ發シ若ハ通過シタルコトヲ証スル警察官署ノ証明書ヲ有スルモノハ此限ニ在ラス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

福井縣知事

中村純九郎

○三重縣令第五十八號

牛疫豫防ニ關スル明治四十三年(八月)三重縣令第五十七號左記中「東京市」「東京府北豊島郡豊多摩郡」トアルヲ「東京府」ト改ム
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三重縣知事

有田義資

○和歌山縣告示第三百三十二號

左記ノ者頭書ノ番號ヲ以テ本日和歌山縣產婆名簿ニ登録ス
明治四十三年九月二十一日

和歌山縣知事

川上親晴

住所 東牟婁郡三里村大字大居千六百四十八番地
開業地 全郡全村大字伏拜六百二十五番地

和歌山縣平民

第七三三號

竹森こつる
明治二十年拾月生

○和歌山縣告示第三百三十三號

那賀郡名手村大字名手市場百八十五番地

開業產婆

木村玉枝

右ノ者今般斯學研究ノ爲上京ノ旨ヲ以テ取消願出ニ依リ本日和歌山縣產婆名簿ノ登錄ヲ取消ス
明治四十三年九月二十一日
和歌山縣知事 川上親晴

○辭令

○明治四十三年九月十九日

任和歌山縣伊都郡視學

三重縣一志郡視學

松浦利雄

給六級俸

和歌山縣立新宮中學校舍監心得兼務ヲ命ス

新宮中學校助教諭心得

前田領三郎

月手當參圓ヲ給ス

月手當六圓ヲ給ス

新宮中學校武藝教師

前田領三郎

○町村吏員ノ異動

○明治四十三年九月十九日認可

那賀郡名手村助役
有田郡城山村助役

金岡虎之助
中井徳之助

○觀象

自九月十六日至九月十八日氣象

(和歌山測候所觀測)

種目	九月十六日		九月十七日		九月十八日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七六二・一	七五八・七	七六〇・三	七六〇・二	七五九・五	七六二・四
平均氣溫	二五度八	一九度四	二六度三	二二度一	二三度九	二〇度五
最高氣溫	三〇度五	二二度五	三二度八	二六度九	二七度六	二七度二
最低氣溫	二二度八	一七度七	二二度六	一六度七	二二度八	一四度四
最多風向	西	北東	西	北	東北東	南西
平均風力	一米七	一米一	一米七	三米〇	二米二	二米三
天氣	晴	曇後雨	晴	晴	雨	晴
降水量		八・四		三・八	二三・五	
記事現象		午後降雨		曉間降雨・終日降雨		

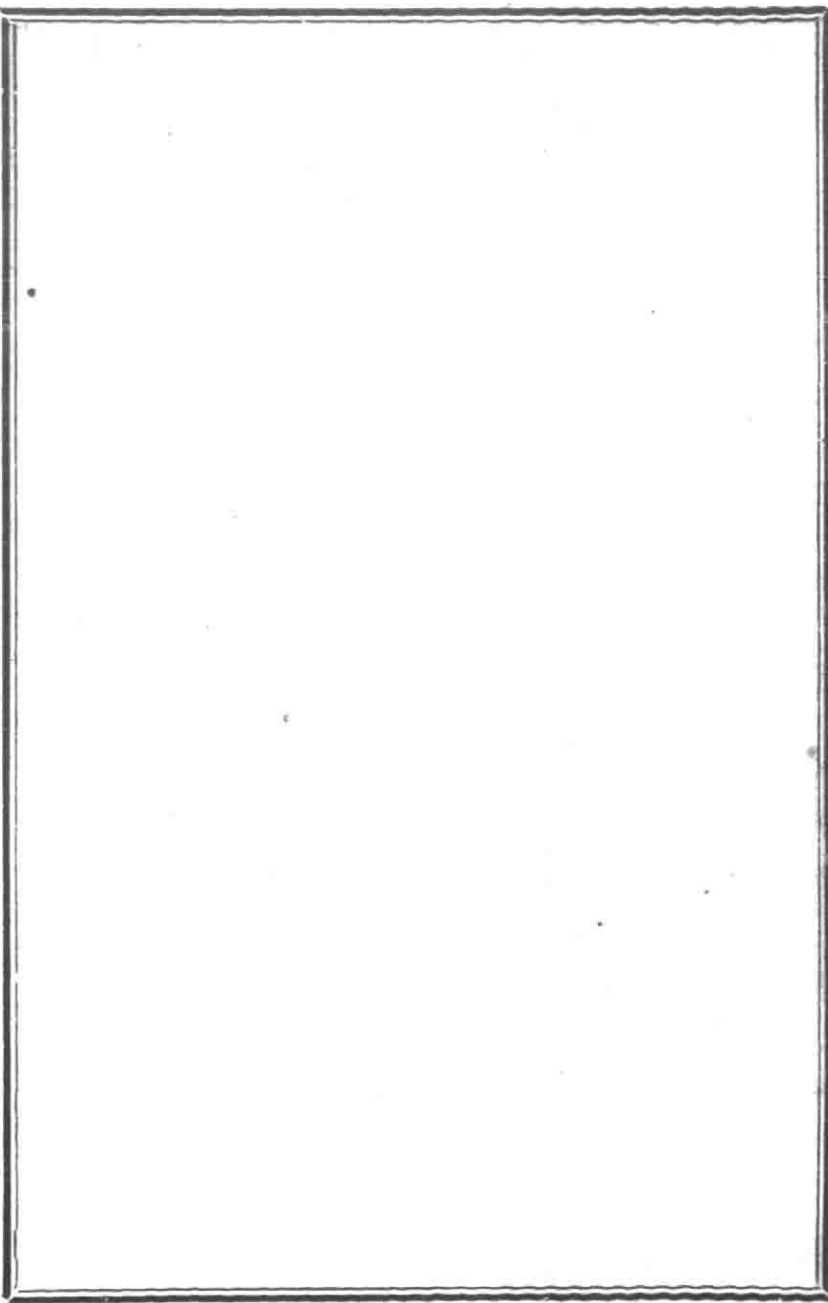
和歌山縣報

第一〇二號

明治四十三年九月二十一日

(第三種郵便物認可)

一一一



明治四十三年九月二十一日印刷
明治四十三年九月二十一日發行
明治四十三年九月二十一日發行

和歌山縣知事官房

印刷所
和歌山市北休賀町六番地
電話
版部
七